

## 「快挙達成!～吹奏楽部の活躍～」

校長 金山 達也

11月8日帰宅してテレビをつけると、皆既月食のニュースが目飛び込んできました。聞き流している「皆既月食中の惑星食」というなんとも耳慣れない言葉がでてきました。月食中に惑星食（今回は天王星が月食中の月の影に隠れる現象）が起こるのはなんと442年ぶり（日本では戦国時代）のことだそうです。しかも次回の月食中の惑星食は322年後の2344年ということですから、なんとも壮大な話でした。

さて、学校は11月を終えようとしています。11月はビッグニュースが美瑛中を駆け抜けました。11月5日に千葉県で行われた日本管楽合奏コンテストに本校の吹奏楽部が予選の録音審査を通り、2年連続での全国大会出場を果たし、更に出場32チーム中10チームに与えられる最優秀賞を勝ち取りました。10月23日に行われた定期演奏会では多くの町民の方に激励され、また、町内外の企業の皆様には力強く背中を押していただきました。何より、吹奏楽部の生徒のこれまでの努力と保護者の方のご苦労が報われたと感じました。その定期演奏会の折、とにかく演奏が聞きたくて、3階のリモート会場でもよいからとかけつけてくれた地域の方がいました。当日欠席者がでたことで運良く私の席の隣に座ることができました。地域の方がどれだけ楽しみにしているかを間近で感じた瞬間です。コロナ禍の影響は学校生活全体に及び本校の部活動も大きな打撃を受けました。特に吹奏楽部はその影響を真正面から受けてしまいましたが、感染症対策をしっかりと行いながら第40回の記念すべき定期演奏会を立派に運営しました。企画からほぼすべてを部長を中心とした部員で行ったと聞きました。40年以上もの長きにわたって活動を続け、更に地域に愛され続けている本校の吹奏楽部を心からたたえたいと思います。

40年前と言えば私は高校生、長いようで短く感じます。でも、さすがに300年後を想像することは難しい。「悠久」という意味（長い年月の中で終わりなく続くこと）の重さを感じた11月でした。ちなみに次のチャンスはさすがにないと感じ、何度か外にでてみましたが、残念ながら皆既月食を見ることは叶いませんでした。

新型コロナウイルスの状況は第7波の収束をみることなく、第8波がきています。医療機関もかなり大変だというニュースをまた聞くことが多くなりました。感染症対策もできることを続けることしかできません。家庭と学校での対策の徹底を行っていきましょう。

## ～吹奏楽部全国大会「最優秀賞」受賞～

学校だより10月号に掲載した通り、11月5日、千葉県で行われた日本管楽合奏コンテストに、本校吹奏楽部が出場しました。全国の舞台では、美瑛中らしい繊細かつダイナミックな演奏を披露した結果、全校上位10校に授与される「最優秀賞」をいただくことができました。

また、10月23日に「美丘」で開催された定期演奏会には、多くの皆様にご来場いただき、思い出に残る演奏会となりました。重ねてお礼申し上げます。

これからも様々な機会で、演奏を通して、皆様にご恩返しさせていただきたいと思



と思  
います。  
応援、  
よろしくお  
願いいたし  
ます!

## ～コキアを片付けました～

10月22日、学校運営協議会とPTA総務部で、学校前花壇に植えてあるコキアの片付け作業を行いました。6月に植えたコキアも順調に育ち、もう少しで真っ赤に染まるころでしたが、雪が降る前に片付け作業を終わらせました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



## ～防災学習を行いました～

1年生の総合的な学習では、講師の方をお招きして防災学習を行いました。町内のハザードマップを使い、防災について学びました。



## 美瑛中トピックス

### ～おしくいただきました～



3年生は、レストラン「アスペルージュ」で食体験の授業を行い、美瑛産の食材をふんだんに使った料理をいただきました。本格的な料理に、大満足のひとときでした。

